

耐衝撃・耐剥離・耐熱・耐湿型
変性シアノアクリレート系接着剤
シアノン 722

シアノン 722は、従来のシアノ系接着剤と同様に一液・速硬化性を維持し、かつ耐久性を大幅に向上させることに成功した変性シアノアクリレート系接着剤です。
特に金属の接着では優れた特性を示し、用途を大幅に広げます。

1. 特徴

- 一液で常温硬化、従来のシアノアクリレート系接着剤と全く同じ方法で使用できます。
- 従来品（シアノ系当社標準品）と比較し耐衝撃性は4倍、T型剥離強度は3倍を示します。

2. 性状

品 名	シアノン 722
主 成 分	エチルシアノアクリレート
外 観	黄色～橙色液体
比 重（20℃）	1.06
粘 度（mPa・s／25℃）	2,500
引 火 点（℃）	80

3. 性能

セットタイム（秒）	40
引張剪断強度（N/mm ² ）	28
T型剥離強度（N/mm）	2.4

試験方法

JIS K6861-1995「 α -シアノアクリレート系接着剤の試験方法」

JIS K6854-1995「接着剤の剥離接着強さ試験方法」

テストピース：鋼／鋼

温 湿 度：23℃-50%RH

高圧ガス工業株式会社

化成品事業本部

【各種接着剤との性能比較】

試験項目		接着剤の種類	シアノン 722	シアノン系 当社標準品	変性 アクリル系	速硬化型 エポキシ系	一般 エポキシ系
セットタイム		Fe/Fe	40sec	30sec	3-4min	8-10min	7-8hr
引張剪断強度 (N/mm ²)		Fe/Fe	28	25	26	9.5	25
		SUS/SUS	26	24	25	11	19
衝撃接着強さ (mJ/mm ²)		Fe/Fe	20	5	27	8	11
T形剥離強度 (N/mm)		Fe/Fe	2.2	0.5	3.0	0-0.5	0.5
耐熱性 (N/mm ²) [150℃×1.5hr]		Fe/Fe	28	5	28	26	22
		SUS/SUS	23	4	26	24	21
耐湿性 (N/mm ²) [40℃, 90%RH ×10日]		SUS/SUS	24	8	16	17	15
耐水性 (N/mm ²) [40℃×10日]		SUS/SUS	19	8	16	17	11

試験条件（接着後の養生時間）

セットタイム : JIS K6861に準ずる。

引張剪断強度 : JIS K6861に準ずる。 被着材 Fe : JIS G3101(SS-41)
: SUS : JIS G3101(SUS-HP)

衝撃接着強さ : ASTM D950に準ずる。 被着材 Fe : JIS G3101(SS-41)

T形剥離強度 : JIS K6854に準ずる。 被着材 Fe : JIS G3141(SS-41)
厚さ0.3mm

【各種被着剤に対する引張剪断強度】

被 着 体		引張剪断強度 (N/mm ²)
金 属	鋼／鋼	28
	SUS／SUS	26
	銅／銅	27
	アルミ／アルミ	20
プラスチック	硬質塩ビ／硬質塩ビ	* 6
	軟質塩ビ／軟質塩ビ	3
	ポリカーボネート／ポリカーボネート	5
	ABS／ABS	* 8
	ポリカーボネート／ポリカーボネート	* 12
	ナイロン66／ナイロン66	4
	FRP（繊維強化プラスチック）／FRP	* 21
	FRP（ポリエステル）／FRP	* 17
ゴ ム	EPDM／EPDM	* 2.3
	SBR／SBR	* 2.7
	NBR／NBR	* 3.0
	CR／CR	* 2.2
	天然ゴム／天然ゴム	* 2.4

* 材料破壊

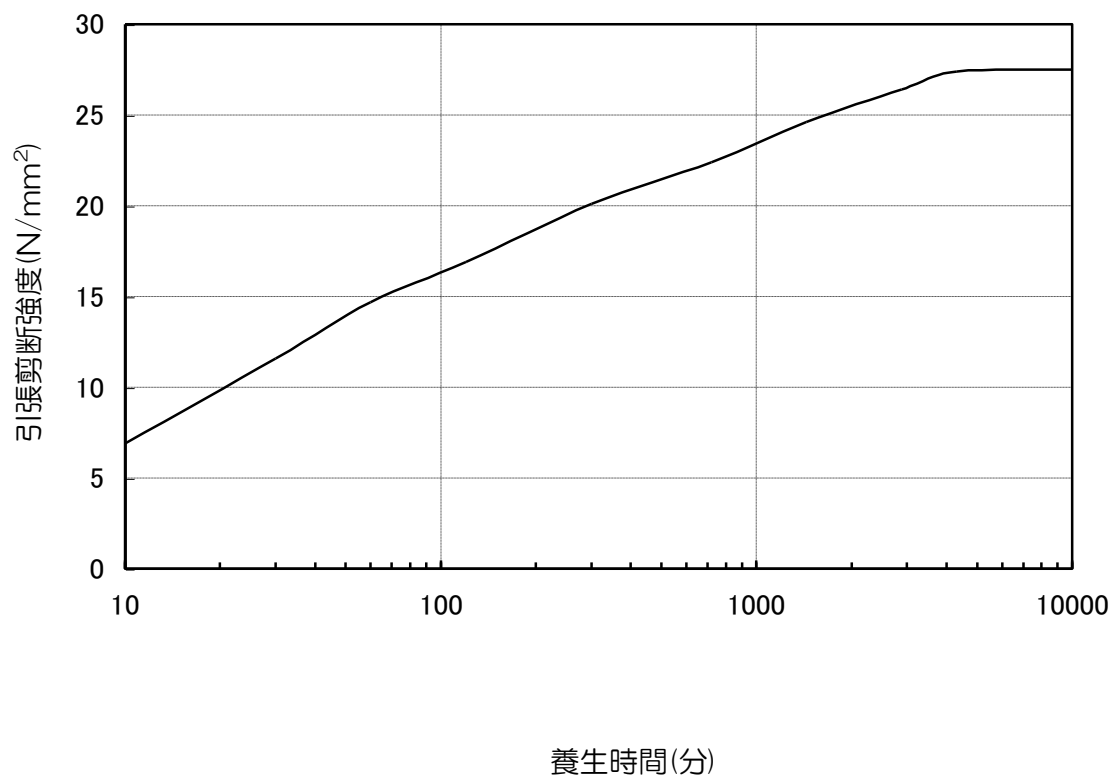
1. 接着してから、23℃-50%RH環境下72時間経過後に測定。
2. 引張剪断強度はJIS K6861-1995に準ずる。
3. プラスチックの試験片は2mm厚、ゴムの試験片は3mm厚を使用。

【養生時間と接着強度】（立ち上がり接着強さ）

養生時間 (分)	10	30	60 (1時間)	120 (2時間)	300 (5時間)	720 (0.5日)	1440 (1日)	2880 (2日)	4320 (3日)	10080 (7日)
引張剪断強度 (N/mm ²)	6.9	11.6	14.7	16.9	20.1	22.1	24.0	26.0	27.4	27.4

試験条件 温度 : 20℃
 湿度 : 65%RH

被着材 : Fe/Fe JIS G3101(SS-41)
 引張剪断接着強さ : JIS K6861 に準ずる。



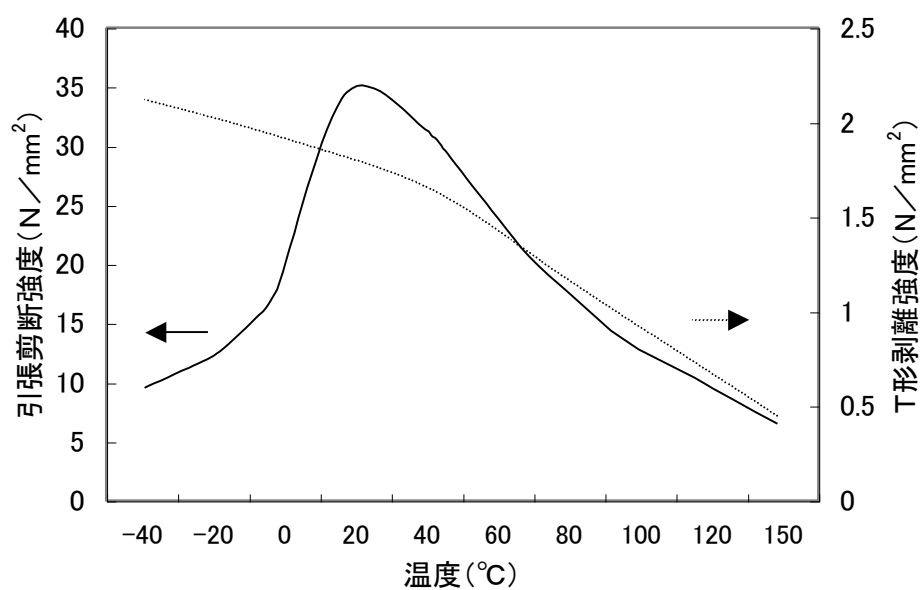
【環境温度と接着強さ】各温度雰囲気中に 30 分間放置後の接着強さ

温度 (°C)	引張剪断強度 (N/mm ²)	T 形剥離強度 (N/mm)
-40	34	0.6
-20	32	0.8
0	31	1.2
20	28	2.2
40	27	2.0
60	21	1.5
80	18	1.1
100	14	0.8
120	10	0.6
150	7	0.4

引張剪断強度 : JIS K6861に準ずる。 被着材 Fe : JIS G3101 (SS-41)

T 形剥離強度 : JIS K6854に準ずる。 被着材 Fe : JIS G3141 (SS-41)

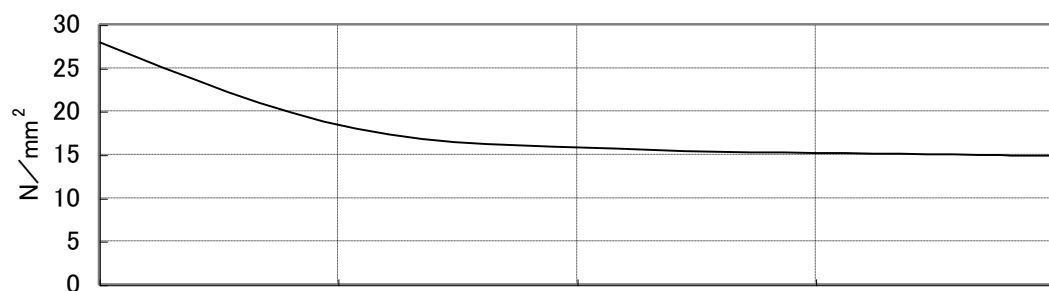
厚さ0.3mm



【環境温度と接着強さ】引張剪断強度 (N/mm^2) 被着材: Fe

100℃: 加熱温度 100℃、各時間経過取り出し後、120 分後に測定

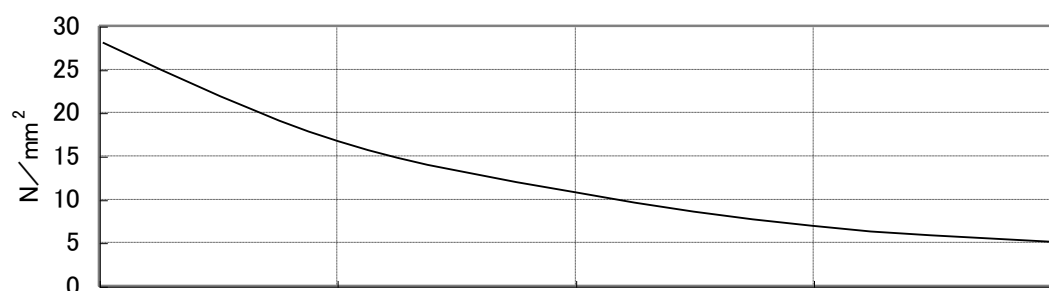
時間	ブランク	1 週間	2 週間	3 週間	4 週間
接着強さ	28	18	16	15	15



ブランク 1 週間 2 週間 3 週間 4 週間

120℃: 加熱温度 120℃、各時間経過取り出し後、120 分後に測定

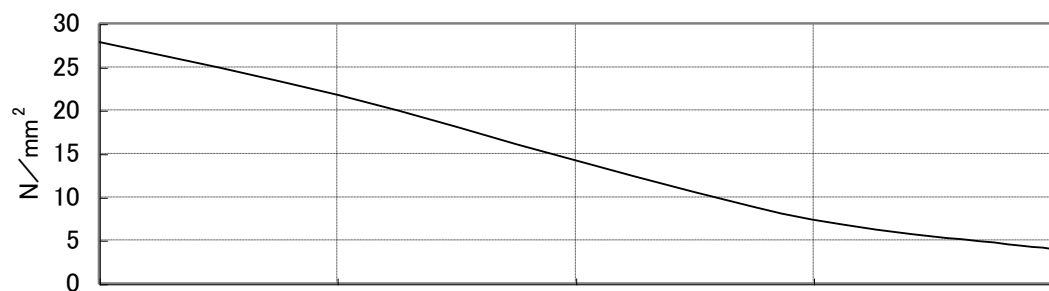
時間	ブランク	1 週間	2 週間	3 週間	4 週間
接着強さ	28	17	11	7	5



ブランク 1 週間 2 週間 3 週間 4 週間

150℃: 加熱温度 150℃、各時間経過取り出し後、120 分後に測定

時間	ブランク	1 週間	2 週間	3 週間	4 週間
接着強さ	28	22	14	7	4

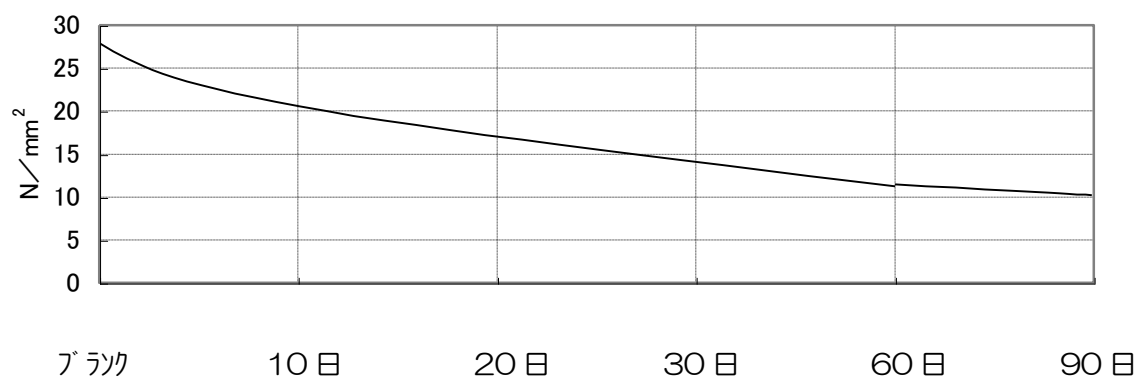


ブランク 1 週間 2 週間 3 週間 4 週間

【耐水・耐湿試験】引張剪断強度 (N/mm²) 被着材：SUS

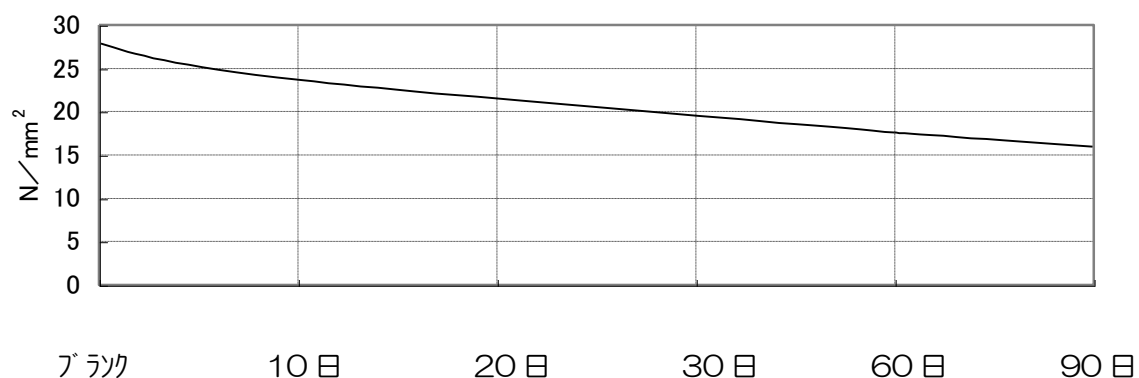
耐水性：40℃温水に浸漬し、各日数経過取り出し直後に測定

時間	ブランク	10日	20日	30日	60日	90日
接着強さ	28	19	18	15	12	10



耐湿性：40℃×90%RH雰囲気中に放置、各日数経過取り出し直後に測定

時間	ブランク	10日	20日	30日	60日	90日
接着強さ	28	23	22	20	18	16



ここに記載しました試験結果につきましては、弊社の研究作業標準に基づいたもので、信頼しうるものであると考えられますが、使用条件、材料の種類、品質によりかなり相違することもあります。御使用前に実際の使用条件、材料にて御試験、御検討頂きますよう、お願い申し上げます。